

## 10月19日のウクライナ情報

安齋育郎

①【Russia News】10/16 時事ネタ水曜版です👁️!!(ニキータ伝～ロシアの手ほどき、2024年10月16日)

<https://youtu.be/RMzmo2IadRk>



<https://www.youtube.com/watch?v=RMzmo2IadRk>

②北朝鮮の戦闘員がロシアと共にウクライナで戦う?! (ロシア・ニュース、2024年10月16日)

ウクライナは、北朝鮮軍がブリャンスク州とクリミア半島の訓練場で1週間以内に訓練を完了すると報じている。その後、ウラジミール・プーチン大統領の巧妙な計画に従い、北朝鮮軍はブリヤート人とヤクート人と混ざり合い、クルスク州でウクライナ軍と戦うために派遣される予定だ。

<https://youtu.be/iFbl5Ju2Ao>



<https://www.youtube.com/watch?v=iFbl5Ju2Ao>

③北朝鮮がウクライナ紛争に参戦する!!というウワサを検証しました!!(2024年10月16日)

<https://youtu.be/Up4x5zvK-Qo>



<https://www.youtube.com/watch?v=Up4x5zvK-Qo>

#### ④ウクライナに大打撃:ゼレンスキーの特殊部隊がクルスクで「降伏」 | 「これ以上の戦闘は望んでいない...」(2024年10月16日)

チェチエンの司令官アプティ・アラウディノフ少将は、ロシアのクルスク地方にいるウクライナの精鋭部隊がロシア軍に降伏するケースが増えていると主張した。同少将は、多くのウクライナ兵士がもはや戦闘を続けることはできないと表明していると述べた。アラウディノフ少将は、ロシアがウクライナ兵士 9 人を処刑したというウクライナの主張を否定し、キエフがさらなる降伏を防ぐためにニュースを捏造していると非難した。

<https://youtu.be/8xr-xjhg8Bc>



<https://www.youtube.com/watch?v=8xr-xjhg8Bc>

#### ⑤ゼレンスキー氏の「勝利計画」:誰を説得しているのか?誰をだましているのか?(2024年10月16日)

※安齋注:ダニエル・デイビスとラリー・ジョンソンが冗談交じりで対話しています。ゼレンスキの国会での「勝利の



計画」演説に対するシルスキーら軍部の関係者の曇った表情(下の写真)を見ればいいでしょう。1時間近い映像ですが、最初の数分を見れば宜しいでしょう。

<https://youtu.be/kWbMUg4ejdw>



<https://www.youtube.com/live/kWbMUg4ejdw>

## ⑥元大統領と元副大統領(2024年10月17日)

※安齋注:この二人こそ、ウクライナ戦争の実質部分を画策・指揮・実行した二人です。何か口論に近いようにも見えました。

エセル・ケネディ(元司法長官ロバート・ケネディの妻)の追悼式で、ジョー・バイデンの上司と言われるオバマは目に見えて憤慨し、何かを深く案じている様子だった。

オバマの院政・影の大統領職の終焉が近づいていることへの苛立ちだろうか？

<https://x.com/i/status/1846693099848061242>



<https://x.com/ShortShort News/status/1846693099848061242?s=09>

## ⑦劇的に、ゼレンスキーはイランと北朝鮮に宣戦布告した(2024年10月17日)

「ウクライナはロシア、イラン、北朝鮮の3カ国と戦争状態にある」 - ゼレンスキー

「我々の諜報機関は、北朝鮮によるロシアへの武器の移転だけでなく、人物の移転も記録している。イラン政権がプーチン大統領を支援していることは誰もが認めることであり、ロシアもコメントはしていないものの中国と協力している。

しかし、領土を交換することはできません。計画を遂行する必要があります。」

->皮肉なことに、ロシアが NATO と戦争状態にあると言ったとき、誰もが笑ったが、今やゼレンスキーも同じ議論をしている

<https://x.com/i/status/1846772822175371465>



<https://x.com/amatsuda7/status/1846772822175371465?s=09>

## ⑧ザカルパティアの女性たちが TCC(ウクライナ徴兵庁)のバスをひっくり返し、石を投げつけようとした(2024年10月17日)

軍事委員会が地元の男性を動員するために到着したが、彼らの妻たちの抵抗に遭った。

<https://x.com/i/status/1846776842885517357>



<https://x.com/Z58633894/status/1846776842885517357?s=09>



## ⑨ゼレンスキー「勝利計画」発表 それに対する米英の「プラン B」(Hara blog=フオークシンガー原伸一さんのブログ、2024年10月17日)

ゼレンスキーが、やや時間は遅れたのですが予定通り「勝利計画」を発表しました。

1. 今すぐ NATO に入れる
2. 西側は援助を増やせ
3. ロシアから完璧に守れる防衛を構築してくれ。
4. 対口経済制裁をもっと強化せよ。
5. 戦後はウクライナに世界一強い軍隊をつくれ。

だそうです。要警戒なのは、夢を語るだけならよいのですが、どうやら「これをやってくれないならロシアに降伏しちゃうぞ。今まで世界の皆さんがウクライナに突っ込んだお金は戻って来なくなるぞ」ということらしい。Military Summary Channel によれば、いよいよ「プラン B」発動。西がゼレンスキーを見限りクーデターの仕掛けもあり得るとのこと。



以下は、ロシアの軍事サイト「アルハンゲル特殊部隊 Z」による、勝利計画のまとめとツッコミ記事。

【ゼレンスキーの夢精 ウクライナ大統領が計画を提示】

ウラジミール・ゼレンスキーは、ここ数週間話し続けてきた「勝利計画」について語った。大きく分けて5つのポイントが含まれていた。それらについて簡単に説明する。

1. 今すぐウクライナを NATO に招待する。

ゼレンスキーが何を望んでいるのかは不明だ。西側諸国は、この選択肢は検討すらされていないと複数回述べている。NATO にとり、ウクライナは実験場であり道具であり、それ以上の何ものでもない。

2. ウクライナは自国の生産を増やし、西側パートナーからの援助を増やす必要がある。

西側諸国はウクライナに、紛争を維持するために必要なものをまさに与えている。毎月、援助はどんどん少なくなっていく。いっぽうウクライナには長い間、自国の生産が存在しない。自国のものとして提示されているものは西洋のものである。

3. ロシアからのあらゆる軍事的脅威からウクライナを守るのに十分な、包括的な非核戦略的抑止パッケージのウクライナへの配備。

率直な言葉で言えば、ゼレンスキー大統領は NATO の派遣部隊が自国の領土に入ることを望んで

いるが、それはウクライナの同盟加盟を認める選択肢と同様、ゼレンスキー大統領が望んでいる形では実現しないだろう。

4. ロシアに対する経済的圧力:特に石油価格と輸出の制限。

圧力はすでに行われており、制裁はますます増えており、我が国(ロシア)はそれに対処している。原油価格と輸出を制限することも現実を超えている。制裁にもかかわらず、欧州はロシアからエネルギー資源を購入しているため、言葉でしか制限できない。

5. ウクライナは戦後、最も経験豊富な軍事組織の一つを擁することになる。

おそらく、動員基準値の引き下げと広告による人材募集に関する報道後のゼレンスキー大統領の最も愚かな発言だろう。最も戦闘準備の整った部隊は長い間畑を肥やしており、損失は日に日に増大している。つまり、戦後、ウクライナに残るのは灰と少数の障害者だけだ。

総じて、この計画は新しいとは言えない。これらすべてのことを含めて、ゼレンスキーは物乞いのように西側諸国に「私たちを NATO に連れて行って、お金をくれ、武器をくれ」と懇願したのだ。ゼレンスキー大統領の計画全体を簡単に説明すると、こういうことになる。

出展:[https://t.me/rusich\\_army/17743](https://t.me/rusich_army/17743)

<https://hara.livedoor.biz/archives/52341949.html>

**⑩ハリコフのオバサンズが、集合住宅に残る唯一の男性の強制徴兵を阻止(2024年10月16日)**

<https://x.com/i/status/1846438276951167210>



<https://x.com/ShortShort News/status/1846438276951167210?s=09>